

京都やましる 新発見

～みやこ路 フォトブック～



JR 奈良線沿線観光キャンペーン推進協議会

京都やましろ 新発見

～みやこ路 フォトブック～



宇治川鉄橋を渡るJR
近藤 邦雄



新 学 期
新 森 敏 弘



桃花の香が匂う電車
森川 有三



茶 摘 み
城田 祥男



木津川を渡る
富永 良明



白い花と国電
坂口 恒一



団体旅行
草川 元男



宇治川を渡るJR奈良線
高田 慶昭



宇治橋夕景

小田 幸司



共存する駅舎

居原田 晃嘉



大吉山上から宇治橋とJRを望む

高田 慶昭



白い橋梁

居原田 晃嘉



穂 そよぐ
小田 幸司



夏 過ぎて
表 弘明



古墳をぬけて
富永 健仁



参道の秋
表 弘明



帰 途
渡辺 かほる



木津川鉄橋からの夕景
荒谷 譲



朝陽を浴びて
金岡 明光



新旧の出逢い
北本 直子



みやこ路快速
小田 幸司



駅 寸 景
富山 貴史



出会いと別れ・青谷駅にて
余田 功



昔はこんな駅なかったのになあ
北本 直子



柿とみやこ路快速
小巻 真司



ころ柿作り最盛期
表 弘明



ぼくの指定席
富山 貴史



緑のかお
新保 美友紀



思い出を乗せて
坂口 恒一



帰宅ラッシュ
富山 貴史



冬の日差しに包まれて
小巻 真司



出発進行！
富永 良明

掲載写真の撮影者コメント

- 1 宇治川鉄橋を渡る JR** 宇治川の清流と緑に包まれた自然の四季折々の美しい景色の中を宇治川の鉄橋を渡る JR、特にグリーンの中が景観とマッチして、なお桜の咲くころの情景は一層にすばらしいです。
(近藤 邦雄 2012.4.10)
- 2 新学期** 新学期が始まって、親たちが心配そうに見送っています。
(新森 敏弘 2012.4.10)
- 3 桃花の香が匂う電車** 桃の花を求めて桃畑を探していると、やさしい香りに誘われ見つけました。この時季淡紅色の桃の花が満開で、しばらく眺めていると電車が通り抜け、電車と桃の花がよくマッチして素晴らしい光景でした。
(森川 有三 2012.4.17)
- 4 茶摘み** 宇治田原町は「お茶の町」です。小さな頃からお茶に親しんでもらうために、うぐいす宇治田原幼稚園では、毎年茶摘み姿での体験授業が行われます。大人になってからもこの笑顔を見たいと欲しそうです。
(城田 祥男 2012.5.16)
- 5 木津川を渡る** 西日を受けて、若草色の電車が木津川を渡る姿を思い浮かべていたところ、やっと撮影ポイントを探し出しシャッターを切ることができた。向かいの泉大橋には大型トラックが走っていた。
(富永 良明 2012.4.4)
- 6 白い花と国電** 真夏の屋下がり、大きな白い花が国電を見送ります。どこか懐かしい風景を表現してみました。
(坂口 恒一 2012.7.29)
- 7 団体旅行** 奈良線は奈良修学旅行及び天理の大祭には臨時団体列車が運転され、見られない色の電車が通り来させてくれますが、最近は少なくなり残念です。
(草川 元男 2012.8.1)
- 8 宇治川を渡る JR 奈良線** 観光協会で応募のパンフレットを見つけて、帰りに宇治川畔を下りて三脚を据え、JRが橋を渡るチャンスを狙った。当日快晴で最高の満足できる写真が撮れた。
(高田 慶昭 2012.9.21)
- 9 宇治橋夕景** 夕暮れに鉄橋を渡る 103系通勤電車のガタンゴトン音。今日も一日お疲れ様と云っているようにも思えます。
(小田 幸司 2012.9.8)
- 10 共存する駅舎** モダンに改築された木津駅の二階部分と旧のままのプラットフォームの対比を撮りました。
(居原田 晃嘉 2012.9.12)
- 11 大吉山上から宇治橋と JR を望む** 宇治川周辺の景色が好きで、カメラ片手に散歩を兼ねてよく大吉山へ登ります。山上からの眺望が最高で、ちょうど望遠レンズをつけていたので宇治橋方面に合わせたところ、JRが来たので最高のシャッターチャンスでした。
(高田 慶昭 2012.9.21)
- 12 白い橋梁** 夏の終わりの快晴日、木津川土手の踏切にて、白い橋梁と緑の電車のコントラストが美しく。
(居原田 晃嘉 2012.9.12)
- 13 穂そよぐ** 玉水駅付近では山背古道と並行して走る JR 奈良線。国鉄時代には大量増備され都市型通勤電車の代名詞となった 103系電車ですが、黄金色の季節にも似合います。
(小田 幸司 2012.10.8)
- 14 夏過ぎて** 秋に入ったのに、まだ緑したたる山里宇治田原。人里から少し離れた所で静かにたたずむ大道神社からの情景は郷愁を誘います。やがてモミジも真っ赤になり、紅葉が映えることでしょう。
(表 弘明 2012.10.14)
- 15 古墳をぬけて** 木津川市の実家の近くに古墳があることをネットで知り、夏の帰省の折りに小学生の息子と見学に行きました。古墳のすぐ近くを電車が駆け抜ける風景は「歴史の今と昔」を感じさせてくれるいい体験でした。
(富永 健仁 2012.8.13)
- 16 参道の秋** 久世神社の境内を JR が走っています。踏切を渡るとそこには古い街並みが続き、いかにも城陽らしい風景です。神社の春は桜の花にも包まれ、すばらしい風情です。
(表 弘明 2012.11.30)
- 17 帰途** 黄昏時。ほっとするような、なんとなくさみしいような帰り道。棚倉駅プラットホームの跨線橋から撮影しました。
(渡辺 かほる 2012.10.26)

- 18 木津川鉄橋からの夕景** カメラを出した状態で乗車。木津川通過時偶然夕日に出会い、ぶれないよう設定し開閉ドア越しに何枚か撮るが、出せるのはこれしか残らなかった。JR 上狛、木津、加茂駅や鉄橋周辺の木津川は恭仁京内にある。この夕日は聖武天皇もみたであろうか。
(荒谷 譲 2012.11.3)
- 19 朝陽を浴びて** 当日は深秋で朝とても寒く、カメラの起動に時間がかかり、一発勝負の撮影、手がかじかんで撮影には苦労しました。でも天気予報など下調べをおこなっていて、快晴の中で思いどおりの電車が撮れました。
(金岡 明光 2012.11.25)
- 20 新旧の出逢い** JR の黄檗駅上り下りそれぞれをつなぐ交換橋から撮影しました。各駅停車のうぐいす色 103系とみやこ路快速 221 系の出逢いの瞬間です。おつかれ様と敬礼し合う声が聞こえてきそうです。
(北本 直子 2012.11.25)
- 21 みやこ路快速** 新田駅前の大銀杏の前を駆け抜ける快速電車、行き先は京都です。(小田 幸司 2012.12.1)
- 22 駅寸景** 女の子たちがのぞき込んでいるものは？ ベンチの学生は朝練帰り？ 駅では、主役もストーリーも違うドラマを同時上演中。
(富山 貴史 2012.12.24)
- 23 出合いと別れ・青谷駅にて** この山城青谷駅は、駅員さんに断ってから向かい側ホームへの陸橋で列車の到着と発車を待ち、丁度同時発着の瞬間すれちがいをおさえました。
(余田 功 2012.12.13)
- 24 昔はこんな駅なかったのになあ** 城陽駅東側には古墳モニュメントの噴水と埴輪が並んでいます。城陽市内では 150 基の古墳が確認されているそうです。1991 年に改築、交換橋が設備され、2 面 2 線橋上駅舎に。ローアングル、埴輪目線で撮影しました。
(北本 直子 2012.12.3)
- 25 柿とみやこ路快速** たわわに実った柿の実。その姿が車窓のガラス一面に映った。今シーズンはどうやら豊作のようだ。
(小巻 真司 2012.12.16)
- 26 ころ柿作り最盛期** 秋の日差しを浴びてオレンジ色の柿がずらりと並んでいます。宇治田原の晩秋の風物詩、ころ柿作りが最盛期を迎えていました。白い粉を吹いた、ころ柿を食したいです。農閑期を利用した、ころ柿作りの知恵はすばらしいと思いました。
(表 弘明 2012.12.7)
- 27 ぼくの指定席** 木幡駅で小さな男の子を抱いたお母さんが乗車。最前列の特等席を譲り、「後ろから撮らせてくださいね」とお断りしてパシャリ！
(富山 貴史 2012.12.23)
- 28 緑のかお** JR 奈良線といえば、やっぱりこの緑の電車！ 年末の寒空のなか快走する緑のかおを連絡橋の上から撮影しました。
(新保 美友紀 2012.12.27)
- 29 思い出を乗せて** 夕焼けの中、奈良へ向かう「みやこ路快速」車内では、たくさんの思い出が運ばれているでしょう。冬の冷たい風が吹く中、待った甲斐がありました。
(坂口 恒一 2012.2.4)
- 30 帰宅ラッシュ** 午後 8 時。仕事を終えた企業戦士たちが次々に帰宅。迎えの車や路線バスの光跡は、家族の待つ自宅に通じる光の線路。
(富山 貴史 2012.12.25)
- 31 冬の日差しに包まれて** 車窓から見えた果実のなる木が気になって山城青谷駅を途中下車。そこには、冬の日差しを浴びながら列車を見送るダイダイの実と葉っぱの姿があった。
(小巻 真司 2012.12.16)
- 32 出発進行!** 城陽駅に停車している電車の車掌に声をかけ、シャッターを切らせていただいた。車掌の「出発進行!」の指さし確認のあと電車のドアは閉まり、ゆっくりと京都方面に向けて走り出した。
(富永 良明 2012.3.4)

■ 観光フォトブックで新発見

今回の企画では「JR 奈良線沿線の新しい風景」に出会いたく、広く募集しましたところ、ガイドブックでは見えない生活に溶け込んだ良い作品が集まりました。日々車窓から見ていた私のイメージそのものが撮影されていて、改めて写真家として「各駅の旅」を歩いてみたいと感じました。そして、この写真集が沿線の魅力を発信し、新たな発見へとシャッターを切る機会につながればと願っています。

写真家：山岡 正剛 (公益社団法人日本写真家協会会員)



「JR 奈良線沿線観光フォトブック」掲載写真募集要項 (抜粋)

【対象区間：六地蔵駅～木津駅】 沿線の鉄道風景写真を募集します

主催者

JR 奈良線沿線観光キャンペーン推進協議会
(事務局：京都府山城広域振興局商工労働観光室)

募集テーマ

『JR 奈良線（六地蔵駅～木津駅）の沿線や車窓から眺める四季折々の風景など、沿線の風景を題材とした鉄道風景写真』

募集写真

- ・車両、線路、駅舎等をモチーフとしたものや走行中の車窓から見える風景を撮影したもの
- ・宇治駅から京阪宇治バスで訪れることができる宇治田原町の風景を撮影したもの

募集期間

平成24年8月1日(水)～平成24年12月27日(木) 必着

応募資格

プロ・アマ、年齢、性別、国籍を問わずどなたでもご応募いただけます。

応募規格

- ・応募作品は、応募者自身が撮影したもので、未発表のものに限ります。
- ・平成23年8月1日以降に撮影したものに限りします。
- ・応募点数は一人5点までとします。
- ・額装、合成写真及び組み写真は不可とします。
- ・カラー六切り（ワイド可）、又はA4サイズでプリントアウトしたもののプリンターで出力の際は、写真用紙を用いること

特典

- ・写真が採用された方には完成品を送付いたします。
- ・採用作品については、京都銀行の店舗で開催される「京都観光写真展」での展示を予定しております。



JR奈良線沿線観光キャンペーン推進協議会

【設立経緯】

JRと連携した観光振興の気運が高まる中、包括的な連携組織として、平成18年3月24日に「JR西日本・京都府観光連携推進協議会」(会長:京都府観光連盟会長)が設立され、この連携組織の地域におけるブロック組織として、JR奈良線沿線における観光資源等を活用し、観光誘客の促進、地域の観光振興を図ることを目的として、平成18年8月9日に「JR奈良線沿線観光キャンペーン推進協議会」が設立されました。

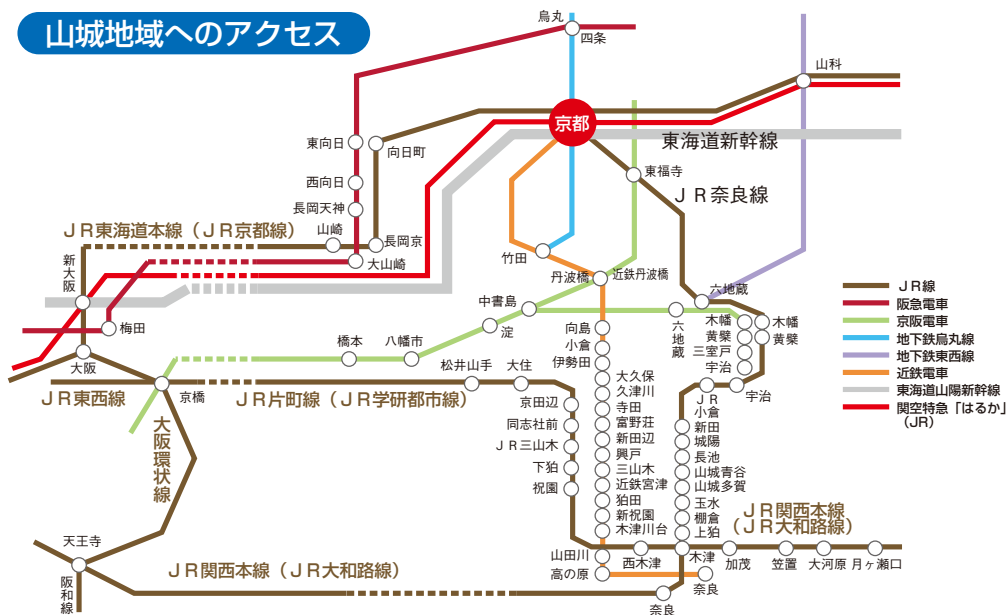
【参画団体】

- 宇治市、城陽市、木津川市、井手町、宇治田原町
- (社)宇治市観光協会、城陽市観光協会、(一社)木津川市観光協会、(公社)京都府観光連盟
- JR西日本近畿統括本部
- 京都府商工労働観光部観光課、京都府山城広域振興局商工労働観光室(事務局)

【事業内容】

- JR西日本の観光宣伝ツールを活用した観光情報の発信
- 管内観光情報の整備・データベースの作成
- 観光キャンペーンの実施

山城地域へのアクセス





発行：平成25年3月

JR 奈良線沿線観光キャンペーン推進協議会(事務局：京都府山城広域振興局農林商工部商工労働観光室)
〒611-0021 京都府宇治市宇治若森7-6 TEL：0774-21-2103

E-mail：yamashin-no-shoko@pref.kyoto.lg.jp URL：http://www.pref.kyoto.jp/yamashiro/no-shoko/